
あける鍵

涼吹 翼

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

あける鍵

【Nコード】

N7393H

【作者名】

涼吹 翼

【あらすじ】

すべてのものをあける鍵。それを手にした年老いた男は鍵を使い・
・。

あるところに鍵があつた。

その鍵はこの世の物のすべてをあける事ができた

どんな家の扉や窓、どんな大きな金庫や小さな箱でも、

さらには人の心の扉さえもあけることができた。

今、その鍵はある年老いた男の手に握られている。

その男はその鍵を使い

金、土地、名誉、女・・・

ありとあらゆる贅沢をし、

自分が裕福に暮らすためにその鍵を使い

汚れた事もした。

しかし、男は満足をしていなかった。

毎日が退屈で退屈で仕方がなかったのだ

男は考えてあることを思いついた。

男は街に出て人々の心の深い憎しみの扉を開けていった。

街は暴動が起こり

暴行、強盗、殺人・・・

あらゆる犯罪が人々を飲み込んでいった。

男は草原に出て虫や動物の食欲の扉を開けていった。

草原は一夜にして枯れ

そこには草の1つも残らなかった。

男は海に出て嵐の扉を開けていった

海には大きな雷、津波、大雨が起こり

そこに行く船、港の小さな町をも飲み込んでいった。

男は世界の果てに出た。

男は満足をしていた。

退屈な日々と分かれることができたからだ。

男は地面に鍵穴があるのを見つけた。

男はその鍵穴をあけてみた。

・・・が何もおこらない。

男は不思議に思ったが

特に気にも止めなかった。

男は帰ろうと後ろを向いた

そのとき

雷鳴が轟き

大きな地震がおき

地面が割れた

男はその割れた地面に吸い込まれていった。

男の下には地獄のように煮えたぎった……マグマ。

（後書き）

いかがでしたでしょうか。

この作品の続編？が

とじる鍵となっております。

もし時間があるようでしたら、

そちらの方も楽しみください。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7393h/>

あける鍵

2010年12月17日14時55分発行